

70 高山川



70)高山川

1.
コルゲート水路
支谷の道路横断部で
魚の移動は断たれる。

71 湯谷川
打火谷川



70)高山川

2.
 $h=1.5m$
魚の遡上は困難である。



70)高山川

3.
植林地の崩壊跡
再度松を植林している。

70)高山川
4.
左記は真実だろうか？



70)高山川
5.
保安林の風倒木地



69)高山川
6.
風倒木地に再度杉・桧を植林している。



70)高山川
7.
植林の崩壊跡
表土が全て滑落している。



70)高山川
8.
砂防ダム
h=7m
魚の移動は不可能である。



70)高山川
9.
植林の崩壊跡

70)高山川
10.
崩壊跡
表土は厚さ0.5~1m
程度である。



70)高山川
11.
同上



70)高山川
12.
谷は砂礫の分布する
自然の流れである。
植林地で土砂が流出
しやすい状況にある。



70)高山川
13.
滝を形成している。



70)高山川
14.
床留工
h=1m
崩壊土砂で埋まった
が、土砂を除去して
いる。



70)高山川
15.
植林の崩壊跡
表土が滑落している。

70)高山川

16.

谷川状況

自然状態の谷川であるが、土砂が流出しやすく、荒れた様相を呈する。魚はすくなそうである。



70)高山川

17.

S30年に植栽の桧林木は細く、下は裸地で災害を発生しやすい。



69)高山川

18.

谷川状況

砂礫の分布する自然状態の川である。小さなヒラメがいる。



71)湯谷川

19.

床留工

h=0.5m

転石がゴロゴロした谷である。



71)湯谷川

20.

谷川状況

ヒラメ・ハヤは居るが大山椒魚は見ないとのこと。



71)湯谷川

21.

砂防ダム

h=15m

谷を上下に二分している。

71)湯谷川
22.
谷川状況
転石がゴロゴロして
いる。



71

71)打火谷川
23.
床留工
h=3m
魚の遡上は困難であ
る。



71)打火谷川
24.
植林状況
下は裸地状態である。

